

君とつばさ



令和8年1月1日
発行・公益財団法人 交通遺児育英会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
(電話) 03(3556)1789
(HP) https://www.kotsuji.com

©交通遺児育英会

運転免許費用・家賃補助を増額

取得費用上限30万円、家賃補助3万円に

交通遺児育英会は修学支援の一環として実施している運転免許の取得費用補助、通学のため実家を離れて一人暮らしをする奨学生への家賃補助を増額する。昨年11月25日に開かれた第44回通常理事会で、議案が承認された。物価高を背景に補助の取得に上限を設ける。物価高を背景に補助の取得に上限を設ける。

交通遺児育英会は修学の増額を求める声が多く寄せられる中、修学環境の改善を図るため支援強化を決めた。運転免許取得費用補助は令和7年4月1日に遡って適用され、家賃補助は今年4月1日から実施される。旧制度では、運転免許の取得に上限を設けていなかった。新制度では、上限を30万円として免許取得にかかった費用の全額を補助する。日常の移動手段として乗用車が欠かせない

また、家賃補助についても、都市部を中心に、運転免許取得にあたって補助額への要望が根強くあり、アパートなどを借りている奨学生への補助額を月額1万5000円から同3万円に引き上げることにした。昨年度は上

校生ら1255人に対して計1125万円(年間総額2250万円)を給付している。

このほか、同理事会で報告された今年度上期(4月～9月)の修学支援事業では、進学受験費用の補助額を上限5万円から10万円へ倍増し、大学院も対象に加えたほか、心身障害児の奨学金を東京府と同額の1万円に下げるとした。今後は奨学生の採用状況を見

と、新規採用が269人、前年同期比29人増、継続採用は572人の同9人減で、計841人(同20人増)となった。

上期の奨学金総額は2億914万円(給付8045万円を含む)、入学一時金等を含む総額は2億4394万円となり、同340万円増だった。

また、広報業務では活動の柱の一つとなっていた無料出張講演を上期で16回開催。下期も昨年度を上回るペースで開催予定が組まれている。

◆会計報告(決算予想) 億8200万円、管理費1億1100万円の計1億9300万円で、下期予想を踏まえた当期経常増減額は1億7100万円の赤字となる見込み。

ヤングケアラー対策を本格化 個別面談に基づいて積極支援

同理事会では、家族の世話を担う子ども、いわゆるヤングケアラー(YC)の支援に関する取り組みが報告された。24年に続いて実施され

米大リーグ・ワールドシリーズを連覇したロサンゼルス・ドジャース。MVPを受賞した山本由伸投手、リーグ優勝決定シリーズに先発した際は初球を本塁打で、試合後にこう語っていた。「初回で、ソロホームランでしたから。メンタルに影響がくることはなかった。結果は完投勝利。敵地の一番、出陣をくじかれたが、プロフェッショナルの自己管理術を見る思いがした。これ、実は当会の元奨学生で中日ドラゴンズの柳裕也投手も同じ。緊張や不安を打ち消すべく、何となく前向きに考える。例えば「本塁打を打たれても、満塁じゃなくてもよかった」、日常生活でも「コップが倒れて中身がこぼれてよかった」という具合。そんなふうに考える習慣が身につくと、試合でも気持ちの切り替えがうまくいくという(本紙2022年1月1日号)▼専門家がその効用は認めている。「失敗やうまくいかなかったことに出会った時、ほかの見方や考え方を自然にできることは気持ちの切り替える大事な力だ」(心療内科医・海原純子さんのブログから)。

死生考

年頭の辞

交通遺児育英会会長

石橋 健一



明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、こんなことを考えました。縁起でもない、なんぞおっしゃらないでください。西洋には「メント・モリ(死を想え)」という言葉もあり、何より古今東西、死について考えることはよく生きることにつながる、と言いますから。

◆ ◆

人の死とは。心臓が、脳の思考が、すべての細胞の再生が停止し、肉体がただの有機物になること。これを人は恐れる。

人は死ぬとき肉体的、精神的苦しみを感じない。肉体についてはほんのわずかな時間の苦しみにすぎないが、常人がたやすく「心臓が止まれば火もまた涼し」とはいくまいから、恐れが消えることはなからう。

精神の苦しみ、あるいは悲しみ、寂しみ、についてはどうだろう。およそ次のようなものか。

- ・夢の実現が断たれる
- ・楽しいことの訪れ(楽しむために自らが行うことも含め)

◆ ◆ ◆

が断たれる

- ・愛する者との縁(新しく縁を結ぶことも含め)が切れる
- ・見る、聞く、話す、書く――による心の動きを失う

いずれも、わが身から心地よいことが失われていくことである。これらの心地よさは、いずれも自分と人との間にあることから生まれる。死によってそれがなくなってしまうことが苦しく、悲しく、寂しいのだ。人と人との間にあることが人に生きる意味を与える、あるいは人の生を支え、支えられ心地よさを生んでいる、その全てを失うこと、それが死である。

逆説的に言えば、生きることの価値とは、人と人との間にあることでもたらされる心地よさなのだ。この心地よさへの執着を断てないことが死の苦しみをもたらす。では死を受け入れるべく観念すれば、苦しみをいやすのか。心地よさへの執着を捨て、人と人との間から離れることを受け入れる境地そのものが死であるから、そこに達することができないなら苦しむことはなからう。言葉で言うのは簡単だが、そうした境地にはどう

5面 交通安全特別対談 風見しんごさん

交通安全特別対談 風見しんごさん

家族の世話「相談せず」半数超

今年度ヤングケアラー調査

交通遺児育英会は、今年度実施した「ヤングケアラー調査」の結果をまとめ、概要を公表した。集計によると、回答者のうち「お世話をしていない家族がいる」と答えた家族は43人（高校生18人、大学・短大以上25人）。「現在はいないが過去はいた」とした15人（同2人、同13人）を加えると、12・4％（計58人）が日常的に家族の世話を担うヤングケアラーに該当するとみられ、単純に比較はできないものの、過去の同種調査の数値より高い傾向がうかがえる。

「充実感ある」一方で「精神的きつさ」も

また、お世話をする頻度を尋ねたところ、高校生の半数、大学・短大以上で4割超が「ほぼ毎日」と答えている。家族の世話に充てている時間は「1日3時間未満」が最も多く、全体の7割を占めた。一方で、1日3時間以上を費やす学生も19％いることが判明。友人との時間やアルバイトなどには充てる時間が取れない、とする回答もあった。

「相談しても状況が変わる」と思えない

高校生の半数、大学・短大以上の6割超は相談経験が「ない」としており、その理由（複数回答）を尋ねると、「相談するほどではない」「相談する

た。家族の役に立ってない充実感」も高校生の4人に1人が感じていた。一方で「精神的きつさ」との回答も高校生の1割、大学・短大以上の2割強に上った。「時間的な余裕がない」との声も高校短大以上では「相談しても状況が変わる」と思えないが2割近くあった。

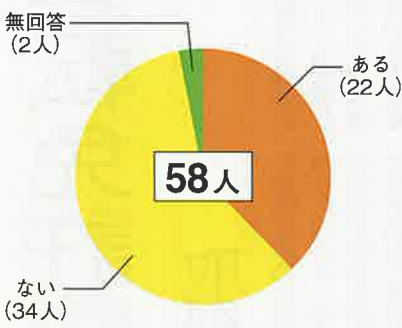
「相談しても状況が変わる」と思えない

高校生の半数、大学・短大以上の6割超は相談経験が「ない」としており、その理由（複数回答）を尋ねると、「相談するほどではない」「相談する

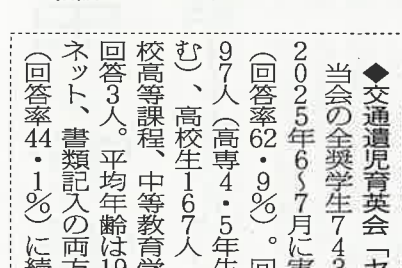
現在いる(43人)
過去にいた(15人)

467人

お世話している家族の有無



家族のお世話について誰かに相談したことがあるか



えいているのか、自由記述欄に寄せられた主な声を紹介します。

・自分はヤングケアラーではないが、人によってお世話することへの思いが違ふと思う。個々の考えを尊重して支援することが必要だと感じる。

・ヤングケアラーは自分の状況が特別だと気付いていないことが多い。め、安心して話ができる場所や相談窓口が必要。子どもが担わなくていいケアを分担してくれる仕組みがあれば、と思う。

冬の屋上



成安造形大学4年
海野 音芽

「語りいカフェ」の今年度日程を終了

奨学生家庭の保護者を対象に、全国各地でプロックごとに開かれていた交通遺児育英会「語りいカフェ」が、12月の鹿児島開催（九州地区）で今年度の日程を終えた。

今年度は7月の金沢を皮切りに札幌、沖縄、新潟、鹿児島で計5回開催し、計22人が参加。保護者間で情報交換したり、日ごろの悩みを打ち明け合うなど交流を深めた。

当会からは石橋健一会長、小栗洋理事、指導課職員が出席し、保護者から意見や要望を聞いた。

支援拡充のヒントに

石橋会長は「会の発足以来、保護者の方々の要望や意見が新たな支援策につながっている。積極的に参加していただき、当会へ提言してほしい」と話している。

出張講演を聴いて

自分自身が加害者にならないよう、被害者家族を増やさないように今までも以上に運転に注意したい。

（被害者の方には）語り尽くせないほどの悲しみや後悔があると感じました。ニュースを見て分かった気になっていて、一つ一つの事故に多くの思いや苦悩が詰まっている、と感じました。

車に携わる会社の社員として、一人の人間として「安全・安心」を常に忘れないようにしたい。

一日無事であったことを心よりの感謝して生きてまいります。

（交通遺児育英会のような）支援があることを知らなかったため、夢があることを知らなかったため、夢

交通安全事故によって悲しんでいる人だけに優しく手を差し伸べたい人でありたい。既に「思い」を込めている方に追い打ちをかけるような人間にはなりたくない、と強く思いました。

交通安全の授業は警察官のお話を聴くことが主だったので、今回の講演はとて貴重でした。この先、ハンドルを握る可能性は誰にでもあるので、命を懸けている意識を持つことが大切だと思いました。

講演の申し込みを受け付けています

交通遺児育英会ではDVD等による全国無料出張講演の申し込みを受け付けています。申し込み、内容に関する詳細は当会ホームページ（<https://www.kotsuiji.com>）、または電話（03・3556・1789）にてお問い合わせください。

まさか！の事態に備える手引書

～警視庁犯罪被害者支援室が作成

交通事故被害に遭った時の刑事司法手続きや捜査の流れ、保険・損害賠償制度、都内の相談窓口など支援制度に関する概要をまとめた小冊子「交通事故にあわれた方へ」を、警視庁犯罪被害者支援室が作成している（表紙写真）。突然の事態に直面した被害者の不安や動揺を和らげる目的。交通事故以外の犯罪被害を対象とした「被害にあわれた方へ」もある。いずれも警視庁ホームページのトップから「相談・お悩み」→「犯罪被害者支援」→「被害にあわれた方へ」の「被害者の手引」からダウンロードできる。



けいしちよう

オンステージ



BTV株式会社(宮崎県都城市)

三島貴文さん

「こんな現場を取材し
て、こんな映像を撮
りたい、と欲が出てきま
した。仕事のやりがいを感じ
られるようになりました」
宮崎県都城市に拠点を置
くケーブルテレビ会社に勤
務する三島貴文さん(28)。
地元密着のメディアとして
宮崎・鹿児島両県にまたが
る地域をカバーする。総務
や営業など各部署での研修
を終え、入社3年目の今は
制作部のスタッフとしてカ
メラを担ぎ、取材に走る。
「ネタ探しから取材、撮
影、動画編集まで、ナレ
ーション以外は一人でこな
しています。分業化された大
手の放送局にはない、そこ
にむしろ惹かれます」
故郷・宮崎を離れて福岡
県の大学に進学。就職活動
の時期を迎え、漠然と「営
業職かな」と考えていた頃、
地元民放の会社説明会に出
席した際、業務体験として
0.5にわたって群れを成す
鯉のぼりは庄巻の景色なが
ら、カメラは初心者。1分
間の放送だったが取材は半
日かかった。「先輩が撮っ
た映像との差に愕然としま
した。この仕事に向いてい
ないのか、とすごく悩んだ」
夏の高球大会の取材で
も冷や汗(?)をかいた。
中継カメラマンとして
臨んだものの、イヤホンか
ら同時に流れる先輩の指示
と実況解説の声で頭がいっ
ぱいに「違う!」「こっ
ちを撮れ!」。イヤホン越
しの怒号に「泣きそうであ
った」と苦笑する。それでも
1週間が過ぎるころには自
身も高校球児だった経験が
生きたのか、撮影の勘が身
に付き、「先輩に『必要な
映像が分かってきたね』と
ほめてもらえました。自分
自身でも成長を感じられた
経験でした」と振り返る。
数々の現場を踏み、基本
的な技術は呑み込んだ感覚
はある。それでも他社の映
像に「こんな撮り方がある
のか」と学ぶことも多い。
「『いい映像を撮るね』と

経験積み重ねて「一番のカメラマンに」

言われる実力を身に付けて、
いつか自分が手がける番組
を持ちたい。だが、そこ
に至る道はない。「この
先も現場に出て経験を積み
ていくしかない」
マ スコミ志望の後輩に
贈りたい言葉は「忍
耐力」。専門的な業務が多
く、「一から覚えなさいとい
けないことばかりなので、
自分も入社するまでカメラ
など触ったこともなかった。
他と違う独自の発想ができ
るセンスの持ち主なら、さ
らにいいと思います」。一
方、この仕事ならではの
醍醐味も味わった。
「25年の世界陸上選手権
直前、宮崎で合宿中のサニ
ブラウン選手にインタビュー
できました。『アスリート
が競技に集中できる環境が
整っている』と、地元をほ
めてくれて嬉しかった」
著名人に限らず、「自分
の生活圏外の、世代性別を
超えたいろんな人に会える
のもこの仕事の魅力」とい
う。今も印象に残るのは、
ウェイトリフティングの全
国大会を制覇した女子中学
生。「軟式野球と『刀流』
の選手で将来が楽しみ。こ
の春、高校ではどちらの競
技を選ぶのか、本人にとっ
て重大な岐路のはずなん
ですが、取材中も笑顔が絶え
ず、楽しそうに話さない。
少し羨ましくなりました」
人事異動は会社員の宿命
ながら、できれば「制作で
働き続けたい」と思う。
「相手に『取材してもら
ってよかった』と思っても
らえるような、宮崎で一番
のカメラマンを目指します」

お母さんの背中

「西の方ですか?」
「西の海外語学研修
説明会で高校3年の長男
(18)と上京した際、エレ
ベーターで乗合わせた他
のお母さんに聞かれた。
「なぜ?」と思ったが、相
手は「分かります」とき
っぱり。よう考えたら、ヒョ
ウ柄の服、着ました」
話好きで明るい笑顔が印
象的な山本博美さん(52)。
生まれ育った八尾市への
「地元愛」は強い。同じマ
ンションに住む長男の幼馴染
の家族とは国内外に旅
行に出かける仲。またある
時は、隣室で骨折して動け
なくなっていた独居女性の
救出劇にも一役買った。
「地元には顔見知りが多
く、困ったことがあれば助
け合う。あたたかい人ばか
りで住みやすいんです。息
子にも挨拶や声かけは必ず
するよう教えました」
地元企業で事務職として
働き、10年になる。それま
での勤め先では商品の受注
から発注までを一人でさば
っていたが、長男の小学校
入学を機に転職した。
「息子を見送ってから出
社して、下校する前に退社
できる条件を認めてもらえ
て。助かります」
長男が小学3年の時、夫
(享年42)は突然、帰らぬ
人となった。日曜の夜、車
で帰宅途中に、信号を無視
して交差点に突っ込んでき
たオートバイと衝突。病院
に駆け付けると、既に亡く

社員(大阪府八尾市)

山本博美さん



なった後だった。遺体の確
認を求められ、顔を覆う布
が外されると、「顔がひど
く腫れあがっていて。悲し
さよりも衝撃の方が大きか
った。私の側にいた息子も
(顔を)見てしまつて……
情緒不安定になった時期が
ありました。もう少し子ど
もへの配慮がほしい」と。
事故の衝撃はしばらく収
まらず、「こんなふうに人
って急になくなるのか、
この先どうしたらいいのか、
という思いばかり浮かんで
息子の手前、取り乱すこと
もできず、心をどうにかに
保てばいいのか、わからな
くなったりました」。
父親不在の環境で、自分
はどこまで父親の役割を果
たせるのか、男同士でなけ
れば話せないこともあるの

では「答えの出ない、そ
んな不安を抱え込んだ日々
が「いちばんつらく、大変
だった」という。それでも、
近くに住む実父の支援もあ
り、生活を軌道に乗せ、新
たな伴侶にも出会えた。

叔 母の影響で、小学生
の頃から筋金入りの
宝塚歌劇ファン。いわゆる
「推しメン」はおらず、
「大劇場の空気、雰囲気と
ラインダンスが好き。日常
にはあり得ないシチュエー
ションがいい」。もう一つ、
宝塚同様にハマっているの
がホラー映画。「寝る前に
部屋を暗くして見る。鳥肌
が立つ感覚がたまらない」
一緒に宝塚を観劇し、ホ
ラー映画にも付き合ってく
れる長男は海外語学研修に
かけることにしている。

「衝撃と不安」乗り越えて

続き、高校奨学生と保護者
のつどいにも共に参加した。
「研修で自分に自信がつき、
ついで仲間との団結力を
感じたようです。近場での
仲間作りのきっかけとして、
高校卒業後も奨学生版の
『語り力フェ』があれば
いいの」と目を細める。
その長男は大学の推薦合
格を決め、この春から臨床
工学技士への道を歩む。国
家資格ながら、交通遺児育
英会が導入する各種資格の
費用補助対象には含まれて
いなかったため、「問い合
わせると、すぐに対象に加
えてもらえました。対応の
早さに驚いた」と話す。
大学入学後も自宅通学の
予定だが、母としては「息
子も18歳になって成人した
ので、母親と出かけてくれ
なくなる前にいろいろ遊ん
でおきたい」とか。とりあ
えず、音楽の趣味は違って
もなぜか二人とも好き
というA doのライブに出
かけることにしている。

特別対談

～ハンドルの重みは命の重み～

「自分は大丈夫」思い込み捨てて



(公財)交通遺児育英会
石橋 健一 会長

いしばし・けんいち 1942年生。北海道大卒業後、日新製鋼（現日本製鉄）を経て96年、交通遺児育英会。事務局長、専務理事、理事長を歴任。2023年6月から現職。



俳優、タレント

風見 しんご さん

かざみ・しんご 1962年、広島県生まれ。82年、TBS系「欽ちゃんの週刊欽曜日」でデビュー。以降、ドラマ、映画、舞台などに多数出演。2023年、語学留学のため渡米。

今年、芸能活動44年を迎える俳優、タレントの風見しんごさん（63）。2007年1月17日朝、登校中だった長女えみるさん（当時10歳）は、自宅近くの横断歩道を渡っている時にトラックにはねられ、その短い生涯を閉じました。愛娘を失った後、風見さんは「（交通事故に関して）自分だけは大丈夫」という思い込みはどうか捨ててほしい、と訴えます。現在は家族が暮らす米国・ロサンゼルスに生活の拠点を置き、芸能活動の傍ら、交通事故被害者遺族として講演などを通じて交通安全の啓発活動に取り組む風見さん。交通事故防止と被害者支援に求められることは――。風見さんが石橋健一会長と語り合いました。

貴重な海外生活体験
自決心養う語学研修

石橋 もともと当会は交通事故死が急増した高度成長期、夫を失ったお母さん方から上がった「わが子をせめて高校には行かせたい」という声が発端でした。その声が社会を国を動かして、1969（昭和44）年5月2日に設立され、これまで5万8千人を超える交通遺児に総額584億円の支援を行いました。今は全奨学生に奨学金の一部給付を実現したほか、学生寮の運営や家賃補助、運転免許取得費の補助、資格・検定試験補助など進学、自立を支える制度を拡充しています。支援策の多くは保護者、奨学生からの要望がきっかけになっています。風見 僕は3年前から米国で暮らしていますが、（交通遺児育英会には）海外語学研修という制度があるとうかがいました。思えば子どもが育つ社会環境もずい分と様変わりして、僕が若い頃は海外へ行くとなったら親戚から饗別をもらうような時代です。今は若い世代が海外に出るのは珍しくない。語学研修は日本から外の世界へ目を向ける機会として素晴らしいですね。

石橋 3週間という短い期間ですが、保護者にお話をうかがうと、英語の勉強以上に自立心を養う場になっていると。風見 僕は当時10歳だった長女を交通事故で亡くしました。それまで事故のニュースを見て「大変だ」という感覚はありましたが、自分が当事者になると大変どころじゃない。「本当に地獄だ」という思いがあまりませんでした。事故を防ぐには、時間がかかっても私たちの意識を変えていくしかありません。僕自身、正直に言えば、「自分（の家族）に限って事故は起こらない」という意識がどこかにありました。そうした意識には何の根拠もないことを娘の事故で痛感したのです。勝手な思いなんです。もし僕の意識が違っていたら「娘は事故に遭わなかったんじゃないか」と、ひどく後悔しました。

石橋 直近の課題としては、親の介護に追われている子ども、いわゆるヤングケアラー（YC）の問題に力を入れています。元奨学生の女性に教えられて気付いたのですが、交通遺児家庭にこそ声を上げられないYCがいるのではないかと。アンケート調査や個別ヒアリングを通じて実態を把握した上で、専門家の助言も得ながら早急に支援策をまとめたかと考えています。風見 YCは大きな社会問題だと思っています。僕の父親は60代前半でアルツハイマー型認知症と診断されたのですが、当時は介護保険制度（2000年度）が始まったばかりで、支援も手探りの中で、何をどうすればいいのか、父に何をどうあてたらいいのか、分からず戸惑うばかりでした。その頃のことを思えば、親の介護に追われる子どもを周囲が支え、社会が助けるシステムはどうしても必要です。

石橋 子どもたちに話を聞くと、家庭で厳しい状況に置かれていても、あまりYCの意識がない子どもが目立ちます。親の介護は当たり前だと思っていたりするんですね。でも実際は、学業に支障が出ているケースがあります。風見 父や母が交通事故に遭えば事故後の対応から介護のことまで、法律などの専門分野もあり、本当に分からないことだらけだと思います。少子高齢化が進む中、状況を放置すれば、YCの問題は深刻化するばかりでしょう。

痛みを抱える子どもたちへの支援に感謝

石橋 帰国した高校生は「顔つきが変わった」と、お母さん方は声を揃えますね。空港へ出迎えに行っても、「我が子はどの子だったの？」となるそうです（笑）。風見 次女は渡米して10年ですが、「イエス」「ノー」をはっきりさせられるようになった。日本では曖昧な言い回しや謙遜は美德や長所だったかもしれませんが、米国では自分の考えをはっきり伝えるという話が前に進みません。おっしゃる通り、子どもって短い期間でも海外に出れば顔つきは変わりますよ。僕は単に年をとっただけですが（笑）。

石橋 僕も子どもたちが置かれた状況を広く訴え、支援したいと考えています。あるお母さんが講演で話された「ハンドルの重みは命の重み」という言葉と同様に、風見さんの体験談は心に響きます。ご無理のない範囲で、ぜひ啓発活動をお続けください。

人を選ばない交通事故
私たちの意識変えよう

風見 僕は当時10歳だった長女を交通事故で亡くしました。それまで事故のニュースを見て「大変だ」という感覚はありましたが、自分が当事者になると大変どころじゃない。「本当に地獄だ」という思いがあまりませんでした。事故を防ぐには、時間がかかっても私たちの意識を変えていくしかありません。僕自身、正直に言えば、「自分（の家族）に限って事故は起こらない」という意識がどこかにありました。そうした意識には何の根拠もないことを娘の事故で痛感したのです。勝手な思いなんです。もし僕の意識が違っていたら「娘は事故に遭わなかったんじゃないか」と、ひどく後悔しました。

石橋 直近の課題としては、親の介護に追われている子ども、いわゆるヤングケアラー（YC）の問題に力を入れています。元奨学生の女性に教えられて気付いたのですが、交通遺児家庭にこそ声を上げられないYCがいるのではないかと。アンケート調査や個別ヒアリングを通じて実態を把握した上で、専門家の助言も得ながら早急に支援策をまとめたかと考えています。風見 YCは大きな社会問題だと思っています。僕の父親は60代前半でアルツハイマー型認知症と診断されたのですが、当時は介護保険制度（2000年度）が始まったばかりで、支援も手探りの中で、何をどうすればいいのか、父に何をどうあてたらいいのか、分からず戸惑うばかりでした。その頃のことを思えば、親の介護に追われる子どもを周囲が支え、社会が助けるシステムはどうしても必要です。

石橋 子どもたちに話を聞くと、家庭で厳しい状況に置かれていても、あまりYCの意識がない子どもが目立ちます。親の介護は当たり前だと思っていたりするんですね。でも実際は、学業に支障が出ているケースがあります。風見 父や母が交通事故に遭えば事故後の対応から介護のことまで、法律などの専門分野もあり、本当に分からないことだらけだと思います。少子高齢化が進む中、状況を放置すれば、YCの問題は深刻化するばかりでしょう。

胸に響く体験談が交通安全意識を宿らせる

あしながおじさんの広場



お便り

ることを祈ります。

(埼玉県K・Sさん)

【11月】

【9月】
交通違反をしてしまい、
これから安全運転の誓
いとして寄付させて頂い
たきました。

(愛知県K・Nさん)

【10月】

力強く生きていくため
の力になりますように。
(東京都T・Aさん)
【10月】
少しでもお役に立て
ば嬉しいです。
(兵庫県H・Tさん)
【11月】
8月に交通事故に遭い
ました。やっと歩けるよ
うになりましたが、本
当に一瞬で運命が変わり
ます。少しでも役立て
てくださいます。

(神奈川県Y・Hさん)

【11月】

「子どもの交通安全を
手堅く技術で守りたい」
というアイデアでコン
テストに入賞した賞金の一
部を寄付させていただきます。
(千葉県E・Mさん)

(千葉県E・Mさん)

(埼玉県S・Hさん)

(東京都K・Mさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

(東京都U・Nさん)

これまでの温かい支援に感謝 これからは「支援をする」側に

周囲と比較すると大変
な境遇にあったとしても
自分の生活を整え、周囲
の方々に大切にして勉強
やクラブ活動、時には仕
事に励み自分なりの最善
を尽くせば、きっと心は
晴れやかにいくことがで
きると思います。共にほ
ちばち頑張っていまし
よう！

(大阪府T・Yさん)

【11月】

後期高齢者になりまし
たが、今年も寄付させて
いただけるのが嬉しいで
す。私も頑張りますので
皆さま勉強に励んでくだ
さい。

(東京都F・Fさん)

【11月】

少ないですが寄付させ
て下さい。

(千葉県K・Mさん)

セブン&アイ・ホールディングス様

「誠実な企業であることを経営理念とする流通グループ」
セブン&アイ・ホールディングス様は、セブン・イレブンなど、
コンビニエンスストア事業を傘下
に持つ会社で、環境問題や社会福
祉などの社会貢献活動にも力を入
れておられます。
セブンマイルは、お会計時に各
店舗のアプリ内のバーコードを提
示すると、2000円(税抜)のご
ご支援に感謝いたします

ご支援に感謝いたします

育英会から

令和7年度の東京都在住の高校生に対す
る奨学金の一部については、公益財団法人
日本デザインナンバー財団を通じて助成さ
れる「東京都地域地方版図柄入りナンバ
プレート」の寄付金を活用させていただき、
奨学生への給付に充てています。

交通遺児育英会の連絡先(平日9:00~17:30)
▽奨学金貸与について 0120-521286
▽返還・猶予・免除について 0120-521287
▽成績相談・つどい・語学研修 0120-521295
▽募金・寄付について 0120-521285
▽心塾入寮申し込みについて 0120-355619

教えて！交通事故Q&A

(公財)日弁連交通事故相談センター 19

Q

2022年11月に交通事故に遭いました。首と腰が痛くて、整形外科と整骨院に通院しました。23年5月まで、相加入の保険会社から治療費を支払ってもらいましたが、支払いを打ち切られ、仕方なく自費で24年2月まで通院し、14級9号の後遺症が残り、治療を終えました。また、車を修理しましたが、その費用を支払ってもらっていません。併せて請求したいです。事故から時間が経っていますが、まだ請求できますか。(京都府50歳・女性)

損害賠償請求すること ができる期間について

A

(相談のあった25年10月時点
で)交通事故に遭った日
から2年11月、治療終
了から1年8ヶ月が経過
しています。不法行為に
よる損害賠償の請求権は
被害者又はその法定代理
人が損害及び加害者を知
った時から3年間行使し
ないときは、時効によっ
て消滅します(消滅時効
民法724条)。
けがをしたこと(人身
損害)に対する損害賠償
については例外として、
この3年間という期間が
「5年間」に変更されて
います(民法724条の2)。
「人の生命又は身体を
害する不法行為による
損害賠償請求権」は、
とくに被害者保護の必要
性が高いため手厚く保護
されているのです。
交通事故損害賠償実務
では、この「損害を知つ
たとき」(いわゆる時効
の起算点)を、後遺障害
の起算点)を、後遺障害

日弁連交通事故相談センター無料相談ダイヤル

0120-0783-25

月~金(祝日除く)10時~19時(相談・通話無料、10分程度)

ホームページ <https://n-tacc.or.jp/>

交通遺児 奨学生募集

ハンドルの重みは命の重み

高校・専修学校・各種学校
大学・大学院

《保護者の重い
後遺障害も対象です》

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

公益財団法人 交通遺児育英会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286
<https://www.kotsuiji.com/>

